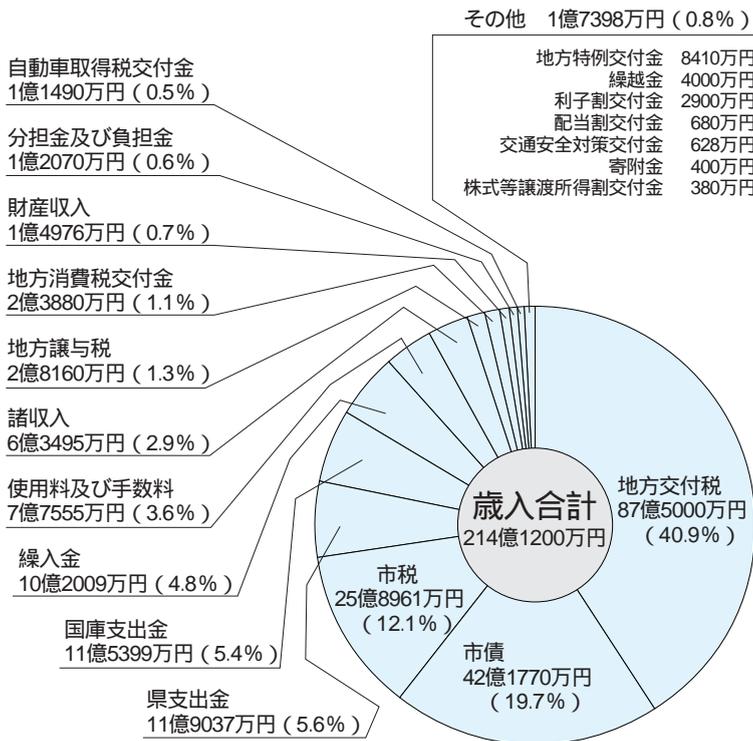


■一般会計の歳入（%は構成比）



平成17年度

予算のあらまし

総額373億8876万円のまちづくり

梅谷馨市長は、施政方針に基づいて編成した平成17年度各会計予算案を、第8回養父市議会定例会に提案しました。

同日例会で慎重に審議された結果、全予算案とも可決され、一般会計と特別会計、企業会計を合わせた予算総額は373億8876万円となります。

ここでは、今年度予算の概要をお知らせします。

■台風災害復旧を最優先 ■行財政改革初年度としての抑制型予算

平成17年度予算は、一般会計214億1200万円、特別会計152億9600万円、企業会計7億6716万円、総額373億8876万円で、前年と比べ37億8670万円の減額（前年比9・2%減）となりました。

同予算は、昨年の台風災害の被災地復興を最優先課題と位置づけ、災害復旧関連事業費などを計上し、被災地域の復興と被災者の生活支援を引き続き行います。

また、厳しい財政状況が続く中、平成17年度を「行財政改革の初年度」として歳出予算額の抑制に努めました。経常的経費のできる限りの削減と人件費の削減（表1）を行い、投資的経費は新規事業を抑制しつつ継続事業を優先的

に実施します。

なお、市の貯金にあたる財政調整基金は昨年より4億8400万円少ない8億円を取り崩し（残高は10億7800万円）、市の借金にあたる市債は昨年より12億3270万円少ない42億1770万円の発行となりました。

（表1）人件費削減の内容

項目	内容
3役給料の1割カット	市長 87万円⇒78万3千円
	助役 70万円⇒63万円
管理職手当の一部カット	部課長 15%⇒12%
	課長 13%⇒10%
	副課長 10%⇒8%
退職者の1/2補充	職員採用を退職者の1/2とする

一般会計

歳入
市税は
一人8万7040円

市に入る1年間のお金が歳入です。市民のみなさんに負担していただく市税は、対前年比1・5%増の25億8961万円を見込んでいます。歳入全体の12・1%を占め、一人当たりで換算すると8万7040円を納めていただくこととなります。

市税や使用料など市独自の収入は自主財源といい、53億3466万円で歳入全体の24・9%にあたります。

これだけでは市の財政を賄うことはできませんので、一



1日も早い完成が待たれる新八鹿病院